

令和元年11月29日

保護者の皆様

湯河原町立湯河原小学校
校長 栢本 尚之

令和元年度 学校評価アンケート集計結果

学校評価のアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。『ほかほかな湯河原小を目ざして(児童用アンケート)』、『学校評価アンケート(保護者用)』の集計結果がまとまりましたのでお知らせします。この結果を次年度の学校運営改善に生かしてまいります。

	「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した割合(%)	児童	保護者
1	学級のいごちがよい	92	94
2	決まりを守っている	88	85
3	挨拶(あいさつ)をしている	86	84
4	温かい言葉を使っている	81	80
5	安心して先生と話せる	87	85
6	掃除(そうじ)ができています	91	61
7	勉強はよく分かる	82	77
8	すすんで学習している	74	53
9	すすんで読書をしている	62	34
10	すすんで外遊びや運動をしている	66	71
11	早寝・早起き・朝ご飯	74	72
12	約束・マナーを守ったゲーム機やスマホ等の使用	80	61

アンケート回収率 児童：100% 保護者73.4%

1 アンケート結果から

- ・質問1～4の結果から、多くの児童・保護者は、学級を居心地よいと感じ、温かい言葉で生活していると考えている。また、安心して先生と話せる関係があり、挨拶ができていて決まりも守っているとも感じている。
- ・質問6では、児童は掃除を頑張っていると思っているが、三人に一人の保護者は十分ではないと感じている。
- ・質問8、9では、児童と保護者の値には大きな開きがあり、保護者は、家庭学習、読書ともに足りないと感じている。
- ・最後の質問12の結果をより細かく見ると、「当てはまる」と思っている児童が54%であることに對して、保護者は18%という結果となった。

2 今後の指導

- 昨年度に引き続き、家庭や児童の間に、きまりやルールを守ることについての意識が高いことがわかります。今後も継続してこの数値が維持できるよう規範意識の向上を図っていきます。
- 「安心して先生と話せる」の項目が高い値でした。今後も、教員の児童を見る目、様子を感じ取る力を磨き、「子どもの良さを見つけ、引き出し、伸ばす」努力を続けたいと思います。
- 読書の習慣化を図り、日記や感想を書く練習を行っています。特に授業では、言語にかかわる事項の繰り返し学習を取り入れたり、掲示物を活用したりして、学習内容に接する環境をつくります。また、体験活動の機会を大切に、自分の考えと経験を結びつける指導を心がけます。
- 読書タイムでは、手元に本を必ず1冊持っているようにする「ワンブック」の取組を行っています。図書館だよりやうちどくブックリストにより読書の良さを発信することで、学校図書館の利用が増加しています。今後も家庭と連携して読書の習慣の定着を図りたいと考えています。
- 清掃では、毎週水曜日に教室や廊下のゴミを回収する習慣が身につくようゴミが減っています。引き続き、掃除の仕方の指導とともに、放送や掲示物などで啓発を行っています。施設の老朽化で汚れが取れにくい箇所については、行政に改善の要望をしていきます。
- 異学年集団活動の良さを保ちつつ、今後の教科時間数との兼ね合いを考え、行事等のあり方やより効果的・効率的な実施の仕方を検討していきます。